

【文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)enPiT-Pro」選定】

2025 年度 情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム(ProSec)

「デジタル製品セキュリティコース」 デジタル製品(IoT)セキュリティ対応ワークショップ ー 欧州 CRA、日本 JP-STAR が求める 製品ライフサイクル・セキュリティ ー

「デジタル製品セキュリティコース」は、情報セキュリティ大学院大学と PwC コンサルティング合同会社による共同研究「IoT セキュリティに関するグローバル規制動向」の分析状況を基に、情報セキュリティ大学院大学が、PwC コンサルティング合同会社の有識者をゲスト講師に迎えて、日本のデジタル製品 (IoT) 関連産業からの受講者に提供するコースです。

現代社会ではインターネットを通してスマホ、PC、家庭用デジタル機器や産業用 IoT 機器、ドローン等、さまざまなデジタル機器が相互につながることによって、日々の生活や仕事が便利になり、社会全体に多くサービスを生み出せるようになってきました。一方で、このようなデジタル機器は、新たな価値とともに、サイバー攻撃によるリスクも併せ持つことも忘れてはなりません。特に、デジタル製品の製造から出荷、運用から保守に至るまでのサプライチェーンのセキュリティリスクを認識し、適切に対処することの重要性が明らかになっています。なぜならば、サプライチェーンにおけるデジタル製品へのサイバー攻撃は、その被害が世界中の利用者に及ぶ可能性が高く、グローバル社会全体の混乱につながりかねないためです。このような混乱を回避することを狙い、欧州では、デジタル製品全体を対象とする新たなセキュリティ品質を求める法制度 Cyber Resilience Act (CRA) が、また我が国ではセキュリティ要件適合評価及びラベリング制度 (JC-STAR) が動き出し、デジタル製品開発者にとっての新たな役割への対応が重要になっています。

本コースでは、ワークショップを通じてグローバルな技術・法制度の動向から脅威分析・リスク評価やインシデント情報への対応の演習まで、幅広い講義内容を通して、受講者が所属企業の製品セキュリティ対応戦略立案に資する情報 (考慮すべきポイント) を獲得し、戦略を Proactive に考える場とすることを目指しています。

ワークショップ概要:

- **DPsec デジタル製品(IoT)セキュリティ(1日、8時間)**

2025 年 11 月 27 日(木) ※最少開講人数 6 名

- **会場 (予定):**

情報セキュリティ大学院大学 横浜キャンパス

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1

(横浜駅 きた西口より徒歩 1 分・西口より徒歩 3 分)

なお、本コースは、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT) enPiT-Pro」に選定された「情報セキュリティ人材育成短期集中プログラム (ProSec)」の一つです。本学は ProSec コースとして様々な講座を提供しております。本講座を受講される方には、IoT 機器のセキュリティ技術を実践的に学ぶことができる「IoT セキュリティコース」を合わせて受講することを勧めています。

■ご参考 「IoT セキュリティコース」(2025 年度は 6 月に開講)

[https://www.iisec.ac.jp/admissions/prosec/\(A1\)2025-IoT-announcement_20250305.pdf](https://www.iisec.ac.jp/admissions/prosec/(A1)2025-IoT-announcement_20250305.pdf)

ProSec プログラムでは、本学及び連携大学(東北大学、大阪大学、和歌山大学、九州大学、長崎県立大学、慶應義塾大学)提供の ProSec コースと組み合わせて、クイックコース修了認定を目指すこともできます。2022 年度以降に ProSec コースを受講されていた場合、授業・演習の内容によっては、修了認定の対象となりますので ProSec 事務局にお問合せください。

情報セキュリティ大学院大学
情報セキュリティ研究科長
大久保 隆夫

【文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)enPiT-Pro」選定】

DPsec デジタル製品(IoT)セキュリティ (1 日、8 時間)

● プログラム

日 時		内 容
11 月 27 日 (木)	09:30～18:30 (昼食・休憩 含む)	① 製品セキュリティ概論 ・ 最新のサイバー脅威動向 ・ セキュリティ関連法規制の国際概況 ② デジタル製品 セキュリティ・バイ・デザイン (出荷前) ・ 脅威分析・リスク評価とハンズオン演習 ・ セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度(JC-STAR)と評価方法ハンズオン演習 ③ デジタル製品 セキュリティ・メンテナンス (出荷後) ・ 製品ライフサイクルでのセキュリティ保守と欧州 CRA 要件 ・ 脆弱性トリアージの基本と実践演習

※内容の詳細は変更される可能性があります。

● 前提知識

製品開発プロセスや品質に関する基礎的知識、脅威や脆弱性・インシデントといった基礎的セキュリティ用語の知識、所属企業のガバナンス体制（組織、社内規程）の知識など

● 講座の目標と到達レベル

デジタル製品メーカーが直面している外部環境を把握し、社内のデジタル製品のセキュリティに対するガバナンスレベルの現状を踏まえ、今後世界の市場で勝残るために必要な製品セキュリティの具体的な取り組みやアプローチ戦略を立案できるようになることを目指します。

● 講義と演習環境

情報セキュリティ大学院大学 横浜キャンパスにおいて、講義と演習を実施します。

演習に必要な PC は情報セキュリティ大学院大学が用意いたします。

● その他

コース終了後、参加希望者の方と講師陣の懇親会を予定しています。(参加費は別途)。

◆申し込み方法と受講料のお支払い

1. 受講申し込みについて

添付の「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、メール添付で情報セキュリティ大学院大学 ProSec 事務局 (Email:prosec@iisec.ac.jp)宛にお申込みください。

「受講申込書」は、以下ご案内ページからもダウンロードいただけます。

[情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム(ProSec)Non-Degree Program]

<https://www.iisec.ac.jp/admissions/prosec/>

2. 受講料

DPsec デジタル製品セキュリティコース (1日,8時間) 88,000円/人(税込)

コース	申込締切日	開講日程	お支払期限
DPsec	2025/11/14	2025/11/27	2026/1 末

3. 受講前の手続き

(ア) 本学より計算書をご送付しますので、注文書を申込み期限までにお送りください。

(イ) 注文書受領後、本学より、受講登録完了のメール(受講案内)と受講料のご請求書をお送りします。
ご請求額を請求書記載の銀行口座あてにお振込みください。なお、振込手数料はお振込者様にてご負担願います。

4. 受講申込みの際の注意事項等

- ・ 注文書受領後のキャンセルは承ることができません。また、コースを欠席なさった場合でも、一旦納入された受講料は原則として返金できませんので、予めご承知おきください。
- ・ 申込締切日(開講 2 週間前)時点で申込者が最少開講人数に達しない場合、開講を中止させていただく場合がございます。その際は速やかに申込代表者の方にご連絡いたします。
- ・ 受講申込みの際に、受講者各位と定常的に連絡可能なメールアドレスをご記載ください。
- ・ その他、詳細につきましては、お申込みいただいた際に、別途ご連絡させていただきます。

【問い合わせ先】

情報セキュリティ大学院大学
ProSec 事務局
Email : prosec@iisec.ac.jp